

議会だより

補正予算・条例制定案件……………	2
町政のそこが聞きたい……………	3
一般質問……………	4～6
研修会などの報告……………	7
予算審査特別委員会……………	8～9
出欠状況……………	10



喫茶reefにて
平成31年3月10日撮影

標津漁師会とベコスケの 漁農食堂

漁師会7名とベコスケ4名の若手が作る活メしたトウベツカジカやゴソガレイ、牛乳豆腐などに付加価値を付け、手塩に掛けたメニューで本食堂も3年目を迎えたのも皆様のおかげです。これからもどうかよろしくお願いします!!

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

同意案件

根室町村等
公平委員会委員
大形 幸男 氏

<住所> 中標津町東5条南
8丁目1番地6
<任期> 平成31.4.1～
35.3.31

意見書

○地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

提 出 者
大垣 勇 議員

標津町 課設置条例

条例の一部が変わり
分掌事務が
次の通りとなりました。

- 北方領土に関すること。
総務課→企画政策課
- ふるさと納税に関すること。
財政課→企画政策課
- 先住民族に関すること。
保健福祉センターに追加

一般会計の補正予算

主なもの（執行残等は除く）

（単位：千円）

項 目	金 額	内 容
ふるさと応援基金積立金	45,460	年度内寄附見込積立金の追加
ふるさと新生プラン・ステップⅡ推進基金積立金（元金）	50,000	政策積立
北海道知事及び北海道議会議員選挙経費	4,256	道知事及び道議会議員選挙に係る経費
子ども・子育て基金積立金（元金）	100,000	政策積立
病院会計繰出金	52,678	収益的収支の入院及び外来収入の減等による繰出金
秋サケ施設整備特別対策事業（標津町漁業振興特別対策事業）	23,864	[秋サケ不漁対策支援] 根室管内さけます増殖事業協会の平成30年度施設整備に係る漁獲割合会費（さけます漁獲金額の1%）を漁協に補助し、漁業者の負担軽減を図る
水産振興基金積立金	51,000	政策積立50,000千円 指定寄附1件の積立（漁協）
小学校維持管理運営費	1,634	暖房用燃料費及び電気料の実績見込みによる不足分の追加
中学校維持管理運営費	1,865	暖房用燃料費及び電気料の実績見込みによる不足分の追加
体育施設管理費	1,284	総合体育館の燃料費及び光熱費の実績見込みによる不足分の追加、アリーナ暖房天井配管修繕経費

◎標津サーモン科学館
指定管理者
特定非営利活動法人
サーモンサイエンスミュージアム
理事長 市村 政樹

◎崎無異育成牧場
指定管理者
株式会社 グリーンランド標津
代表取締役
今井 和善

期間はそれぞれ
4月1日から3年間

公の施設に係る
指定管理者の更新

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいう。

町政のそこが聞きたい

平成31年第1回定例会(3月7～14日)で3議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

小川 悠治 議員

4ページ

● 『緑町福祉公営住宅団地』の

- ①入居者の選考基準
- ②災害時要援護者支援体制

を質す



緑町福祉公営住宅団地の外観

緑町福祉公営住宅団地の目的は、高齢者世帯及び障がい者世帯と若者家族世帯を同一団地に居住する事により、高齢者や体の不自由な方の福祉を推進することにある。現在6棟に53世帯が居住している。

石橋 昌幸 議員

5ページ

● 受動喫煙対策を問う

役場庁舎の外に設置されている喫煙所



▼受動喫煙(Passive smoking)
自分の意思とは無関係、あるいは意思に反して、たばこの煙の吸煙を余儀なくさせられる状態。二次喫煙(Second-hand smoke)ともいう。
喫煙者が吸い込む主流煙と、これが吐き出された煙、たばこの点火部から立ち上がる副流煙の3種類があり、主流煙に比べ副流煙のほうが有害物質が多い。たばこの煙がなくなった後も、喫煙者の髪や衣服、部屋のクッション、カーペット、床などに付着して残っている有害なガス・粒子をほかの人が吸い込むことがあり、三次喫煙、サード・ハンド・スモーク(third-hand smoke)と呼ばれる。

● 胆振東部地震でのブラックアウトを体験して…非常用電源等災害時の備えは？

出典

現代用語の基礎知識 2018

吉田 智 議員

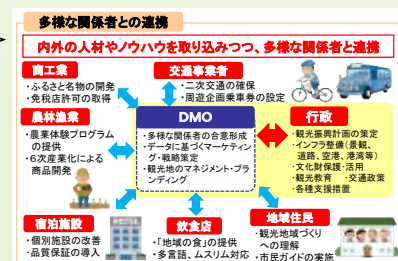
6ページ

● 【DMOの構築】を

DMOの形成

人口減少時代に挑戦する
政策パッケージ2019

に組み入れを！



出典

国土交通省観光庁

【DMO】: Destination Management / Marketing Organizationの略
『目的地を売り込む(管理・経営する)組織』の意味で、『観光地域づくり推進法人』と訳される

● 百聞不如一見…

現場主義で政策遂行を！

百聞不如一見

【百聞は一見にしかず】 出典: 趙充国伝

『緑町福祉公営住宅団地』の

①入居者の選考基準 ②災害時要援護者支援体制 を質す



小川 悠治 議員

問

『緑町福祉公営住宅団地』は、町内で最も老朽化し、高齢居住者が多かった緑団地の建て替えに当たり、1階を高齢者や体の不自由な方に、一、二階は福祉支援を条件に、一般世帯を居住させる模範的な福祉団地として、平成5～9年度にかけて建築された。

A～F棟の6棟で、高齢者向け15戸、体の不自由な方向け2戸、一般の方向け36戸、合

計53戸となっている。



『緑町福祉公営住宅団地』の看板

その福祉公営住宅の
①入居者の選考基準
②災害時要援護者支援体制
の2点を質す。

答 副町長 高齢者の

入居条件は、世帯主65歳以上・配偶者60歳以上の世帯、65歳以上の単身者、障がい者は1

級～4級の障がい者手帳を有する方、一般居住者に関しては、一般の公営住宅の選考基準と同じであるが、入居の条件として

■共用玄関の除雪

■緊急時の対応

■災害時の避難の手助け

の3点の福祉サポートをお願いし、入居契に明示をしている。

現在、団地内の災害時要援護者登録者は8名であり、12名の支援者が登録されているが、団地内支援者は2名の現状である。

災害においては、迅速・適切な援護が求められる。支援者のみならず、同棟居住者全員の協力が望まれる。

団地内居住者の理解を求める等、整理・解決すべき課題がある。



『緑町福祉公営住宅団地』＜左からA・B棟 C・D棟 E・F棟＞

問

団地の2名の支援者で、緊急時、災害時に、8名の要援護者の対応は不可能である。福祉公営住宅の目的が形骸化している。

一般入居者の大部分は、支援に関して理解を示しているので、要援護者の現況を説明し、必要な個人情報を開示し、協力を求めるべきである。

入居者を決定する建設水道課と支援体制づくりの保健福祉センター「ひまわり」の連携が求められるが？

答

縦割り行政の弊害を防ぐ為、職員間のコミュニケーションを進める。緊急時の弱者は「自助・共助・公助」の内、「共助」が頼りになる。

福祉住宅に限らず、個人情報運用に関して見直したい。

受動喫煙対策を問う

今後相談しながら対応

問 2018年7月に制定された「健康増進法」により庁舎内禁煙、敷地内禁煙は当然と考えている。しかし、日本にはたばこを吸ってはだめという法律はないし、たばこ税が町の財源の一つであることを考えると受動喫煙対策を講じ、愛煙家の人達に対しても好環境を整えるべきである。

答 たばこ税は今年度4680万円であるが、町民の健康を優先して考えていく。現在役場庁舎を含めて室内禁煙としているが、庁舎、あすばるなどは室外で喫煙している。喫煙施設を設置するにはかなり経費も必要だし、庁舎、あすばるの敷地内



石橋 昌幸 議員



役場庁舎の喫煙所

に適当な場所がないなどに問題がある。今後何らかの対策が必要に

なると思うが、多くの方と相談をしながら対応していく。

胆振東部地震でのブラックアウトを体験して…

非常用電源等

災害時の備えは？

主な公共施設などに発電機や燃料確保に努める

問 新しい想定外の災害に挑戦するために、胆振東部地震で経験した全域停電を踏まえ、非常用電源の重要性、それに対しての燃料備蓄についてと、町が災害時に優先すべき対応手順「業務継続計画」は当町にはすでに制定していると思うが、今一度伺う。

ければ最低でも一時間使用可。

あすばる 自家発電（暖房用燃料タンクとは別）で燃料は劣化するので石油業界や町内のスタンドと協定し災害時に優先給油してもらうことになっている。

役場庁舎 今まで防災無線用の自家発電機だけだったが、今年の耐震工事に合わせ自家発電機を充実させていく。

今回の地震により酪農家119戸のうち18戸が発電機が無かったのが搾乳に影響が出た。



※非常用電源
写真はイメージです。

その後補助事業や自己資金で110戸が130台保有している。地震関係での食料などの用意は防災計画でも個人で対応することになっているが町としても、急いで避難した町民に対し、一定の食料等を用意しているし、町内のコンビニなどと協定し食料の確保に努めている。BCP（事業継続計画）は策定しているが、最新の情報・世界情勢を把握し、停滞しないように取り組む。今、力を入れているのは児童生徒への防災教育であり、今後

参考資料

人口減少時代に挑戦する政策パッケージ2019

産業・経済の政策

【生産基盤を高め、地域資源を活かし、人の流れを変える】

- ①新しい農業経営者づくり
- ②農業協同組合の支援
- ③水産資源対策の強化
- ④標準ブランドづくり
- ⑤標準川の水環境保全等
- ⑥起業等支援補助拡充
- ⑦再生可能エネルギーの活用等
- ⑧交流人口の拡大による地域の活性化
- ⑨情報発信の強化等



【DMO】の構築

交流人口・関係人口の拡大による地域振興

問 町は、観光振興の舵取りを担うDMO（観光地域づくり推進法人）の構築を検討している。当町には類ま

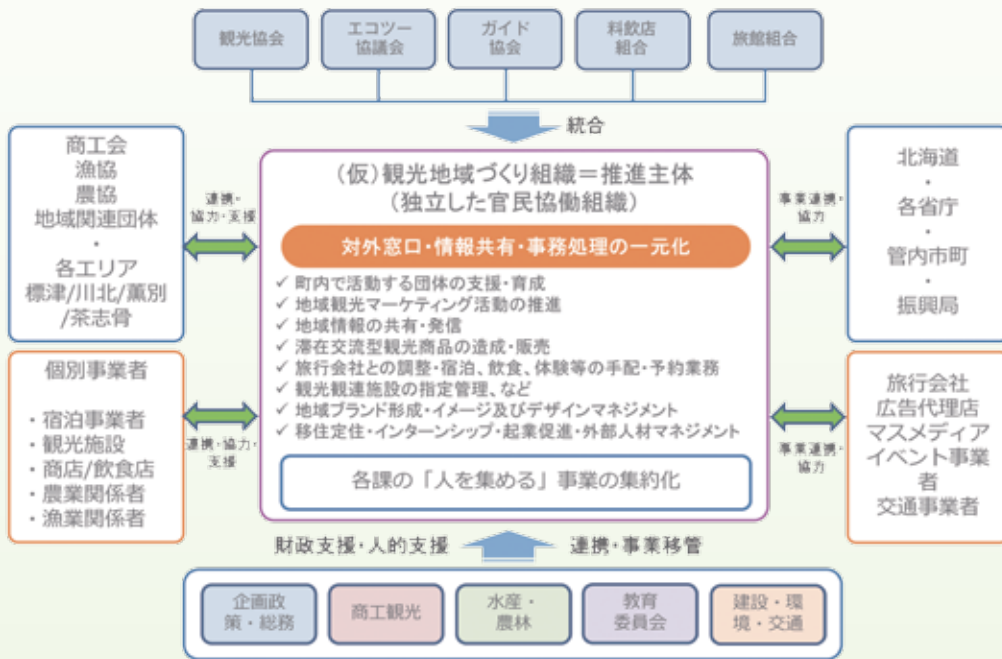


吉田 智 議員

「DMOの構築」を人口減少時代に挑戦する政策パッケージ2019に組み込みを！

【DMO・機能のイメージ】

図 版



れるなる観光資源に恵まれている。その資源を、

点↓線↓面へと拡充し、標準観光の課題をクリアし、地域一体の魅力ある観光地域づくりにする事が望まれる。

その為には、官・民連携したオール標準の体制・組織の構築が必須である。

図 版

- ① 観光振興計画の制定
- ② 観光条例の制定
- ③ インフラ整備
- ④ 文化財の保護・活用
- ⑤ 観光教育
- ⑥ 交通政策
- ⑦ 各種支援措置

等、多種多様挙げられる。

交流人口・関係人口の拡大による地域振興の見地に立脚し、『DMO構築』を、『人口減少時代に挑戦する政策パッケージ2019』に組み込み、積極的に取り組むべきでは。

参考資料

答 昨年11月に関係者による検討会議を実施した。「観光で稼ぐ、観光で食っていく」と言う覚悟が必要である

が、一方で未成熟の部分も多々ある。

行政主導で進めると成果が上がらず長続きしない事が多い。議会等にも諮りながら、慎重且つ前向きに検討して行きたい。

百聞不如一見

現場主義で政策遂行を！

問 中国の格言の「百聞不如一見」は、現場志向の意義を訴えている。現場主義を唱える金澤町長の下、縦割り行政から脱却し、連携を取り合い、現場主義で政策遂行する事を町職員に望む。

答 意識改革を図り、『町民に寄り添う』事を信条として業務にあたる。人口減少に対する危機感を共有し、政策パッケージを中心に政策を理解し、現場主義で遂行して行く。

平成30年度釧路・根室地方森林・林業・林産業活性化を促進するための連絡会議「研修会」に参加

当研修会が2月25日に釧路市工業技術センターで開催された。山崎正明会長の挨拶の後、北海道水産林務部林務局林業木材課人材育成担当課長の土屋禎治氏による「道立北の森づくり専門学院の目指す姿」と題する講演が行われた。



挨拶をする山崎正明会長

内容とは昨年旭川市を中心として設立が決まった道立林業大学の基本計画で、教育システム、カリキュラム、運営体制、地域や産学官との連携・協力など詳細について説明があった。標津町議会からは、大垣勇、山崎英司、山崎陸郎の3議員が参加した。



講演中の土屋禎治氏

項目	内容	備考
名称	(仮称) 北海道立林業大学校	北海道らしい名称を公募し、設置条例制定時に決定
就学要件	道内の林業関係企業等への就業を希望する者で ・ 高等学校卒業又は同等以上の学力を有する者 ・ 入学時に40歳時以下の者	今後、道内外から広く募集
修学期間	2年間	
学年定員	40人 (将来必要となる林業労働者数・新規参入者数などを勘案)	
授業料等	検討中 (農業大学校などの道立学校や、他府県の林業大学校の状況等を参考)	今後、設置条例制定時に決定

林業大学校の概要

田中議長、小川副議長、高橋議員、木下議員が2月6日に全国町村議会議長会会長から

4議員が全国表彰

自治功労表彰を受け3月14日標津町議会定例会において、それぞれ伝達された。



木下議員(議員15年以上)



田中議員(議長7年以上)



小川議員(議員15年以上)



高橋議員(議員27年以上)

予算審査特別委員会

平成31年3月11日～14日

平成31年度 予算原案可決

総額 100億8,368万円

一般会計 67億7,200万円
7 特別会計 22億2,293万円
病院事業会計 10億8,875万円

予算審査報告

平成31年度、標津町一般会計予算、特別会計予算8件、関係条例の一部改正4件、合計13件が付託され、3月11日から14日までの4日間、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会（南憲治委員長・山崎陸郎副委員長）で慎重に審議され、理事者及び各課主査以上の職員が出席し、総括質疑終了後、討論採決を行った。委員会は各会計とも原案どおり可決すべきものと決定した。

14日、予算審査特別委員会終了後、平成31年度、第1回定例会において、南委員長から委員会審査報告がなされ、全会一致で可決された。

議案番号	議 案 名
議案第1号	消費税及び地方消費税の税率改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定
議案第3号	標津町地域住民センター条例の一部を改正する条例制定
議案第7号	公の施設に係る指定管理者の指定について（標津サーモン科学館）
議案第8号	公の施設に係る指定管理者の指定について（崎無異育成牧場）
議案第16号	平成31年度標津町一般会計予算
議案第17号	平成31年度標津町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算
議案第18号	平成31年度標津町国民健康保険特別会計（病院事業）予算
議案第19号	平成31年度標津町介護保険特別会計（事業勘定）予算
議案第20号	平成31年度標津町介護保険特別会計（サービス事業勘定）予算
議案第21号	平成31年度標津町後期高齢者医療特別会計予算
議案第22号	平成31年度標津町簡易水道特別会計予算
議案第23号	平成31年度標津町下水道特別会計予算
議案第24号	平成31年度標津町金山地域休養施設等特別会計予算

人口減少時代に挑戦する「政策パッケージ2019」3つの柱

～「北海道 No.1 の子育て支援のまち」～

1. 結婚・子宝・子育ての政策
2. 定住・移住・暮らしの政策
3. 産業・経済の政策



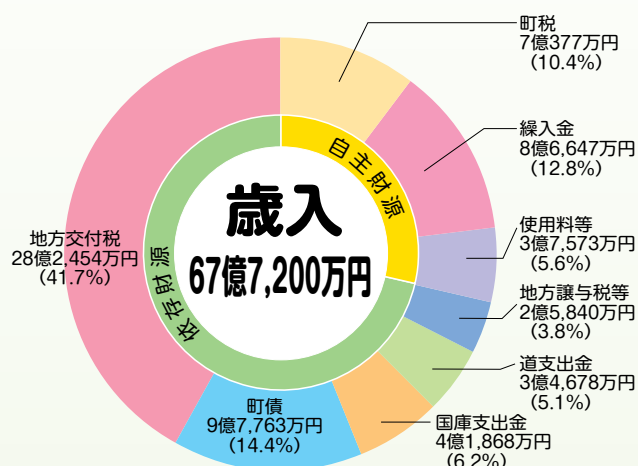
一般会計 人口減少時代に挑戦する政策パッケージに5.4億円

67億7,200万円...

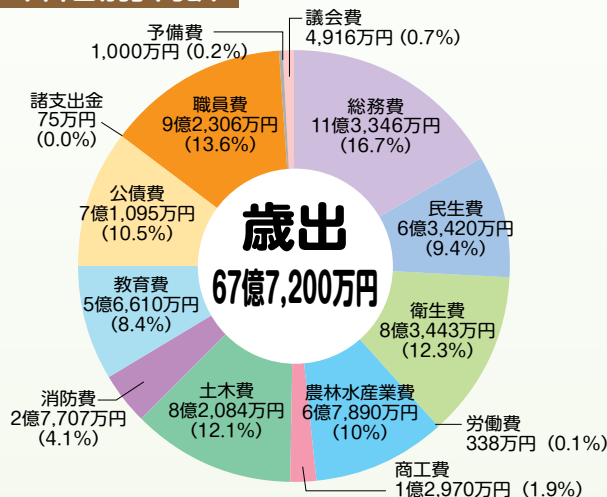
対前年度比
▲2.6%

～役場庁舎の耐震等改修事業など、住民の安心・安全を第一とした防災・危機管理～

「財源別」内訳



「科目別」内訳



※自主財源 19億4,597万円 (28.8%)

※依存財源 48億2,603万円 (71.2%)

町 債＝借 金

公債費＝返済金

各会計予算額

会 計 区 分			平成31年度	平成30年度	対前年度 比較（％）
一 般 会 計			67億7,200万円	69億5,000万円	▲ 2.6
特 別 会 計	国民健康保険特別会計（事業勘定）		9 億8,296万円	9 億2,841万円	5.8
	介護保険特別会計（事業勘定）		4 億3,345万円	4 億2,286万円	2.5
	介護保険特別会計（サービス事業勘定）		3,079万円	2,960万円	4.0
	後期高齢者医療特別会計		1 億3,031万円	1 億2,660万円	2.9
	簡易水道特別会計		2 億3,088万円	2 億1,242万円	8.7
	下水道特別会計		3 億9,577万円	4 億0,228万円	▲ 1.6
	金山地域休養施設等特別会計		1,877万円	2,139万円	▲ 12.3
	特 別 会 計 合 計		22億2,293万円	21億4,356万円	3.7
企 業 会 計	国民健康保険特別会計 （病院事業）	収益的収支	9 億8,657万円	9 億1,177万円	8.2
		資本的収支	1 億0,218万円	9,068万円	12.7
	企業会計合計		10億8,875万円	10億0,245万円	8.6
総 計			100億8,368万円	100億9,601万円	▲ 0.1

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

議員の出欠状況(平成30年度) 出席……○ 欠席……×

[]の委員は複数所属

【定例会】議員10人

年・月・日	氏名	山崎	山崎	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
議会名											
H30.6.20	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.9.13	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.12.13	第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.12.14		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31.3.7	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31.3.8		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31.3.14		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】委員8人

氏名	山崎	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	山崎	吉田
年月日									
H30.10.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.10.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.10.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【予算審査特別委員会】委員9人

氏名	山崎	吉田	大垣	石橋	小川	木下	高橋	山崎	南
年月日									
H31.3.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31.3.11	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31.3.12	○	○	○	○	○	×	○	○	○
H31.3.14	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【臨時会】議員10人

年・月・日	氏名	山崎	山崎	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
議会名											
H30.5.16	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.8.21	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【合同常任委員会】委員9人

氏名	山崎	山崎	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川
年月日									
H30.6.14	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.9.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.12.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H31.2.22	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【総務経済常任委員会】委員6人

氏名	山崎	山崎	石橋	木下	南	大垣
年月日						
H30.4.24	○	○	○	○	○	○
H30.5.16	○	○	○	○	○	○
H30.6.14	○	○	○	○	○	○
H30.7.20	○	○	○	○	○	○
H30.8.23	○	○	○	○	○	○
H30.9.6	○	○	○	○	○	○
H30.11.19	○	○	○	×	○	○
H30.12.6	○	○	○	○	○	○
H31.1.18	○	○	○	○	○	○
H31.2.22	○	○	○	○	○	○
H31.3.15	○	○	○	×	○	○

【文教福祉建設常任委員会】委員6人

氏名	山崎	山崎	石橋	小川	吉田	高橋
年月日						
H30.4.25	○	○	○	○	○	○
H30.5.22	○	○	○	×	○	○
H30.6.14	○	○	○	○	○	○
H30.7.17	○	○	○	○	○	○
H30.8.24	○	○	○	○	○	○
H30.9.6	○	○	○	○	○	○
H30.10.12	○	○	○	○	○	○
H30.11.22	○	○	○	○	○	○
H30.12.6	○	○	○	○	○	○
H31.1.18	○	○	○	○	○	○
H31.2.22	○	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】委員4人

氏名	山崎	山崎	吉田	大垣
年月日				
H30.4.13	○	○	○	○
H30.4.20	○	○	○	○
H30.6.20	○	○	○	○
H30.7.13	○	○	○	○
H30.7.20	○	○	○	○
H30.9.13	○	○	○	○
H30.10.12	○	○	○	○
H30.10.19	○	○	○	○
H30.12.13	○	○	○	○
H31.1.11	○	○	○	○
H31.1.18	○	○	○	○
H31.3.8	○	○	○	○

【議会運営委員会】委員5人

氏名	大垣	高橋	小川	石橋	木下	田中
年月日						
H30.6.14	○	○	○	○	○	○
H30.9.6	○	○	○	○	○	○
H30.12.6	○	○	○	○	○	○
H31.3.1	○	○	○	○	○	○

【全員協議会】議員10人

氏名	山崎	山崎	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
年月日										
H30.8.21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.9.13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.12.13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

お詫び

本誌第169号(12月定例会・平成31年2月1日発行)において誤植及び脱字等がありましたので、ここに訂正し、お詫びを申し上げます。

今後、精細なる校正により、誤りのない紙面作りを心掛けて参りますので、変わらぬ御指導・御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

道内の陸上自衛隊の削減検討に関する報道

標津分屯地があり、100名前後の隊員が北方防衛の任務に当たっている。災害発生時の支援はもとより、ご家族を含めて地域活動にも積極的に参加をいただくと、本町にとって標津分屯地は無くしてはならない存在である。

●読点「、」を句点「。」に訂正

金澤町長の行政報告

4ページ 3段目

「アイヌ新交付金」は標津町の地域復興にとって千載一遇のチャンス!

標津道跡群発掘調査と新交付金活用計画の運動が重要…2点を質す

- ① 標津道跡群の世界的価値の発信を!
- ② 地域挙げての「地域計画」策定と取組体制の強化が必須!



小川 悠治 議員

下、盛況に終えた。その際、8千年を超える当地の歴史が、モニタツアーにより紹介された。政府はアイヌ民族政策を加速し(参考)、アイヌ新交付金制度(補助率実質90%)の創設する。標津道跡群の発掘調査計画が前進し、観光資源と位置付けられ、観光客誘致と地域振興

の地元町民の参加の

小川悠治議員の一般質問

6ページ 欄外見出し・4段目・5段目

●3箇所の復興を振興に訂正

南憲治議員の一般質問



南 憲二 議員

7ページ 1〜2段目(質問の見出し)・1段目(顔写真のキャプチャー)・4段目

国道335号海岸浸食 早急な対応について 現状で国道への浸食は 見受けられない

●質問の見出しを

国道335号線沿いの海岸浸食 早急な対策を!

に訂正



阿寒川(砂利堆積)

●句点「。」を入れる

●「二」を「治」に訂正

値する旨を伝えた。

現在、日本遺産登録再申請に向け、管内連携を図り、今考えられる最高のストーリーを作成中である。

新交付金活用に関しても、管内の連携・協力の下、道跡群の価値と魅力の活用・発信に努めて行く。

●11月28日に内閣官房を訪れた際、平取町、白老町、洞爺湖町、標津町が新交付金採択町村に入っているとのコメントを頂いた。明年早々、事業説明を受け「地域計画」の策定に入るが、その際、アイヌ政策室幹部職員が担当として配置される。官・民・学を連携し総合力で「地域計画」策定に当たる。あらゆる関係団体による協議会を立ち上げ、新交付金による地域復興を促す。

●アイヌ民族文化祭「アイヌ民族の未解明の歴史を知る鍵となる標津道跡群の整った住居跡の総数は、約4400箇所に達する。

「アイヌ民族文化祭」に来町された、内閣官房アイヌ総合政策室長に対し、国による学術調査と研究を求め、町がその成果の活用と発

移動販売サービス事業の運営

商工観光課より「カウモン号年度別実績」の説明後、①カウモン号の町助成金の根拠②加盟店舗と品数③運行経路④事業の効果として、今後の展開として、「従来のカウモン号は、老朽化が激しいため、新規購入し、衛生管理等の手続き」納車に向けて最終段階

を迎えている。新しいカウモン号は、4WDとなるため悪路でも走行が可能になるし、冷凍設備も充実し品数も増えるなど更なる売上増につながる。」との説明を受けた。新カウモン号の発売式は12月7日を実施された。

常任委員会の動き 〔総務経済常任委員会〕

16ページ 4段目

●「」内の文章を「衛生管理等の手続きを行ない、」に訂正

旭川市

15ページ 3段目



三浦綾子記念文学館(右側が別館)

常任委員会の動き〔文教福祉建設常任委員会〕

●本年を平成30年に訂正

三浦綾子記念文学館は、1998年6月13日、全国の三浦文学ファンの熱い思いと民設民営の形態で開館した。今年、20周年を迎え、旧三浦宅の「口述筆記の書斎」を別館として復元し、本年9月にオープンした。

寄稿

標津高校は「一人一人が輝く学校」づくりを 目指しています

北海道標津高等学校 校長 中川 雅 司



2017年4月に着任し3年目の春を迎えました。もし友人に、標津町の印象を聞かれたら「自然は厳しいが、人がとても優しい町」と答えようと思います。標津町は人情味があり、暖かい雰囲気のある町だと感じております。また、厳しい自然だからこそ見る事ができる景色が有ります。多くの方の名刺には「海、山、川、大平原がありなす感動の大地」と書かれています。まさにその

通りです。その感動の大地で大昔から人が住み続けているこの標津町は、魅力あふれる町だと思います。

私が勤めております標津高校は、昭和9年（1934年）、公立青年学校標津村立標津実践女学校として開校し、校名の変更や高等女学校への昇格の後、定時制高等学校として再出発（昭和25年5月2日…開校記念日）しました。その後、全日制課程の設置、商業科の設置、定時制課程の閉課、商業科の閉科などを経ました。平成25年度に創立80周年記念式典を挙行了した伝統校であり、卒業生は約6000名おり、全国各地で活躍しています。さらに、昨年の7月にはユネスコスクールの認定を受けました。

現在、本校では「潜在力が開花し、一人一人が輝く学校」を目指す学校像として、生徒たちが社会の担い手として活躍するための資質や能力を身につけることを目標としています。そのために、以下の3つを柱として、生徒一人一人に寄り添い、個に応じた教育の実践を心がけております。

- ① 学びが輝く（生徒一人一人の学力を伸ばせる学校）
 - ② 未来が輝く（将来の夢、進路の希望が実現できる学校）
 - ③ 笑顔、汗、涙が輝く（豊かな人間性、規律ある学校生活が送れる学校）
- 高校卒業後、多くの生徒が進学等を理由に町を離れます。そんな生徒たちが数年後に外で大きくたくましく成長してこの

町に帰ってきてくれれば良いなと考えています。そのために、在学中にこの町の歴史や自然に触れる機会を活用し、町の良さを知ってもらいたいと考えます。しかし、物心ついた頃から住んでいる町の魅力や良さは、なかなか感じることはできません。だからこそ、自分たちのように、他の土地も知っているものが伝えることに意義があると考えます。

本校は、標津町をはじめとして多くの方々より多大なるご支援を受けながら、教育活動を行っております。着任後、様々な機会に本校が地元の方々から大切にされていることを強く感じる場面が何度もありました。地域からの負託や支援に込められた信頼される学校、さらには「行きたい」「通わせたい」と言われる学校づくりを目指して教職員一同、尽力しております。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

編集室



平成27年5月に広報特別委員の任命を受け、あつという間の4年が過ぎ去ろうとしています。

途中でメンバーの一部交替がありました。が、この号が私達の委員会メンバーで編集する最後の「議会だより」となりました。又、平成最後の号となります。できるだけ議会の内容を細かくお知らせする様にと努めてまいりましたが、伝わりましたでしょうか。皆様のご健勝を祈りつつ筆を置きます。

（山崎 英司）



（4年間ありがとうございました）

議長 田中 孝幸

広報特別委員会

委員長 大垣 吉田
副委員長 勇智

委員 山崎 陸郎

委員 山崎

しづつ議会だより